

新型コロナウイルス感染症に関する

ICN ハワード・カットン事務局長から日本の看護職へのビデオメッセージ（和訳）

皆様、こんにちは。国際看護師協会（ICN）事務局長のハワード・カットンです。

ICN アネット・ケネディ会長及び ICN 全理事を代表し、日本の看護職の皆様が新型コロナウイルスに対処し、封じ込め、予防するために行なっているすべてのことを私たちは伺い、お礼を申し上げます。

私たちは ICN において、世界保健機関（WHO）と緊密に連携し、臨床課題や保健医療従事者の権利と責務に関する指針を提示するとともに、このウイルスに打ち勝つための重要な公衆衛生上のメッセージを発信しています。

皆様の所属協会である日本看護協会は、ICN にとって大変重要で影響力のある会員協会であり、皆様の国でも強力なリーダーシップを発揮されています。

私たちが特に懸念していることは、个人防护具の不足です。私たちは各国政府にこの課題への対応を呼びかけ、企業に対し増産するよう求めています。また、保健医療従事者の感染率の上昇も大変憂慮しています。私たちの取組みは十分ではなく、看護職の皆様や保健医療従事者を支援し守るために、さらなる努力が必要です。そして、皆様こそがこのウイルスとの闘いにおける計画立案や優先順位付けの中心人物となるべきです。

今年は「看護師・助産師の国際年」です。このような事態は想定外でしたが、皆様が日々の実践の中で行っていることこそが、自国の健康だけでなく、世界の健康にとって、看護がいかに重要であるかということを証明しているのです。

改めて、皆様のすべての活動に感謝いたします。私たちは皆様と連帯し立ち向かいます。どうかご自身を大切に、お互いをいたわりあい、そして、あなたは独りではないことを忘れないでください。

○ メッセージ URL

<https://www.youtube.com/watch?v=H7-igg4jnl8&feature=youtu.be>